

第2回 垂水市総合開発審議会 会議録

1.	日 時	：	令和 5 年 3 月 22 日（水）14：40 ～ 15：10
2.	場 所	：	垂水市役所 3 階 第 1 会議室
3.	会 次 第	：	1 開 会 2 審 議 (1) 次期総合計画兼総合戦略の策定に向けたスケジュールについて (報告) (2) その他 3 閉 会
4.	出席者	：	・佐野 雅昭 委員 ・片野田 拓洋 委員 ・川崎 あさ子 委員 ・福里 由加 委員 ・森 真由美 委員 ・川筋 貴子 委員 ・村野 剛 委員 ・宮下 直弥 委員 ・森 千秋 委員 ・川井田 守 委員 ・鶴飼 康弘 委員
5.	欠席者	：	・小栗 有子 委員 ・杉元 浩一 委員 ・堂藺 一仁 委員 ・市渡 しのぶ 委員
6.	垂 水 市	：	・益山 純徳 副市長
7.	事 務 局	：	・二川 課長 ・羽生 主幹兼係長 ・市木 主査 ・菅 主任主事 ・隈崎 主事

事務局 1	…	引き続き、第2回垂水市総合開発審議会を開催いたします。 始めに、委員の出席状況について、ご報告いたします。 委員総数 15 名のうち、11 名の出席で、垂水市総合開発審議会条例第6条第2項に定める定足数を充たし、本審議会が成立したことを報告いたします。 それでは、審議に入りますが、ここから先の議事進行につきましては、垂水市総合開発審議会条例第5条第3項の規定により、引き続き、A 会長にお願いいたします。 それでは、A 会長、よろしくお願いいたします。
議長 (A 会長)	…	引き続き、議長を務めさせていただきます。 それでは、審議に入ります。 審議事項(1)の次期総合計画兼総合戦略の策定に向けたスケジュールについて、事務局より説明をお願いします
事務局 2	…	始めに、配布資料の確認ですが、まず、会次第、次に、右上に資料3と記載された横向きの冊子、となります。 早速ですが、お手元に資料3の準備をお願いします。

資料の表紙をめくっていただき、1 ページをご覧ください。

このページでは、題名に記載していますとおり、これまでの振り返りとしまして、昨年8月に開催しました第1回審議会の内容を改めて、説明させていただきます。

先ほど開催しましたまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会と重複する部分もございますが、重要事項となりますので、ご了承ください。

総合計画については、基本構想・基本計画・実施計画の3層構造となっております。

前回の審議会におきまして、基本構想の期間を3年前倒しし、前期基本計画の期間を2年延長することについて、諮問させていただきました。

期間変更の理由の一つとして、計画期間のイメージ図のとおり、総合計画の期間を変更することにより、令和7年度をスタートとし、総合計画と総合戦略を一体的に推進したいと考えたためです。

資料をめくっていただき、2 ページをご覧ください。

1 ページで説明させていただきました市からの諮問に対する審議会からの答申について、説明させていただきます。

諮問書については、委員の皆さまに会議録と併せて送付させていただきましたので、ポイントのみ説明させていただきます。

最後の段落に赤色の文字で記載のとおり、総合計画の基本構想を3年前倒しし、前期基本計画を2年延長することにより、計画年度を合わせられるこのタイミングで、2つの計画の統合を図ることが望ましい、との答申をいただいたところでございます。

答申を踏まえ、昨年の9月末には、市議会議員に対し、期間変更の方向性について説明を行うなど、事務局において、準備を進めてまいりました。

資料をめくっていただき、3 ページをご覧ください。

このページでは、題名に記載していますとおり、現計画であります第5次総合計画策定までのスケジュールについて、説明させていただきます。

説明の意図としましては、今後、次期総合計画であります第6次総合計画の策定に向け、作業を進めていくこととなりますが、本総合開発審議会のおおよその開催回数、開催時期について、委員の皆さまにイメージを共有させていただくためです。

現計画は、平成30年度をスタートとする計画となりますので、遡って2年前の平成28年度のスケジュールからご説明いたします。

表の上から3行目の市民満足調査については、市が実施している施策に対する市民の満足度を把握するために実施するもので、平成28年8月頃に実施いたしました。

次に、表の上から4行目の公開講座については、計画づくりにおける市民意見の把握のため、鹿児島大学様のご協力により市民向けの公開講座を平成29年6月から9月にかけて実施いたしました。

市民満足度調査、公開講座等の結果を踏まえ、基本構想案の策定を行い、パブリックコメント、市議会の議決を経て、基本構想の策

定に至りました。

基本構想の策定後は、前期基本計画の策定を行い、パブリックコメントを経て、前期基本計画の策定に至りました。

皆様に委員を務めていただいております総合開発審議会については、表の1番下の行に記載のとおり計6回の会議を開催しており、主な審議内容については、表の下に記載のとおりとなっております。

表の上に平成28年度、平成29年度という記載がございますが、その右側に括弧書きで令和5年度、令和6年度ということで、令和7年度をスタートとした場合の計画策定1年前、2年前のスケジュールの目安として記載しております。

なお、前回、平成28年度には、審議会を開催しておりませんが、市民満足度調査結果の共有を行う必要があると考えるため、令和5年度中にも審議会を開催したいと考えております。

直近の予定としまして、令和5年度の上半期には、市民満足度調査を実施する予定としております。

具体的なスケジュールについては、今後、事務局において、組み立てていくこととなりますが、委員の皆さまに、今後の大まかな流れについて、共有させていただくため、ご説明させていただいたところでございます。

資料に基づく説明は以上となりますので、よろしくお願いいたします。

議長 (A 会長)	...	ただいまご説明いただきました、スケジュールについて、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
D 委員	...	今、垂水市の公式ラインをつくっていると思うので、何かこれを活用して、その満足度調査ができるといいなと思うので、考えてもらえたらと思います。
事務局 2	...	前回の調査につきましては、市の方で無作為に 1000 名の方を抽出し、その方々に対しまして、振興会長を経由しまして、調査の依頼を紙媒体で行い、回答についても紙媒体で、振興会長経由で集約させていただいたところでございます。 来年度の調査につきましては、委員からありましたように、公式ラインの活用、あと電子媒体による回答ですね。 県の電子申請システムというのがございますので、そういったものを用いた回答方法を導入できないか、現在、事務局の方で検討しているところでございます。
D 委員	...	それこそ、さっき言ったように取り残される人じゃないけど、お年寄りや、やっぱり紙の方がいいでしょうから、紙と電子媒体を併用するといいなと思います。
E 委員	...	垂水市の公式ラインは、どのぐらいの方が入れられているかわかりますか。
事務局 1	...	2月の議会のときにご報告申し上げたときは、800 人を超える方から登録いただいている状況でした。 ほとんどの方がラインは、アプリとして活用されていると思うんですけども、その活用方法として、この垂水市に登録されるってい

		うところまでちょっと至ってないと思いますので、また、そういったところは、広報誌を含め、周知を図っていききたいなという風に思っております。
D 委員	...	僕は農業とか、子育て支援とか登録しているんだけど、そうするとそれが自動的に配信されるので、結構便利です。 私たちがまず登録して、周知していければいい。
事務局 1	...	ごみ収集に関しては、燃えるごみの日とか、あと資源ごみの日とかであるとかってというのは、その前日に自動で配信して、明日は、燃えるごみの日ですよっていうのをお知らせするような形になります。 是非、委員の皆様におかれましては、ご活用いただくよう、よろしくお願いします
議長 (A 会長)	...	最近、色々なところがそういうラインを使い出したので、多分それがもうかなり多いんですね。 毎日、色々なところからラインが送られてくるので、もういや一つてなっちゃうね。 市民満足度調査は、紙媒体とデジタル媒体の併用で、チャレンジしていけたらいいかな。 我々もよくグーグルフォームを作って、その URL を二次元バーコードにしてっていうのは大学でも結構やったりします。 これ要するにスケジュール、今ご説明いただいたんですけども、ざっくり言うと令和 5 年度は、総合開発審議会としては、ほとんど動かないということで、市民満足度調査を夏にやりますので、それが終わった段階で、その結果報告みたいなのを秋ぐらいに審議会でご報告をいただけるっていうぐらいの感じですね。
事務局 2	...	会長が仰いましたとおり、市民満足度調査を終えた後、秋若しくは冬頃になると思うんですけども、その段階から委員の皆様には、その結果というのを共有させていただくことが重要だと考えておりますので、1 回審議会の方を開催させていただきたいという風に考えているところでございます。
事務局 3	...	少し補足をさせていただきます。 市民満足度調査の結果を踏まえましてですけども、できるだけ前倒しでやっていきたいと思っておりますので、今のところは、令和 5 年度は、1 回というアナウンスがありましたけど、状況に応じて 2 回、もっとやっていきたいという考えもありますので、また、その都度ご案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。
B 委員	...	公開講座関については、前回、どんなことされたのか。 次回の公開講座については、どのように実施するのか構想があれば教えてください。
事務局 1	...	私は、事務局ではなく、委員として参加させていただいたんですけども、その際には、小栗先生に場をいただき、様々な意見を聴取していただいたところでございます。 市民の方々にご参加いただいて、公開討論という形でテーマを決めて、そのテーマに沿って、意見を出していただいたところです。 最終的にこの総合計画については、議会の議決が必要となります

		ので、いかに市民の方々の意見が計画に反映されたかというプロセスも含めて、ご説明申し上げないといけないという形になりますので、先ほど申し上げましたとおり、市民満足度調査をはじめとする市民の意見聴取という部分が重視されて参りますので、しっかりと取り組んでいきたいと考えているところでございます。
議長 (A 会長)	...	補足しますと、1 グループ 7、8 人でテーマごとにグループを作 って、市民の方と市の職員の方とそれからそれをコーディネートす るため、我々も入りまして、テーマごとに色々な意見をその場で出 していただいて、それを最後にそれぞれのグループごとの話し合っ た内容をそれぞれプレゼン、最後に報告し、皆で共有すると。 そのようなことを 1 日かけてやったということでした。
B 委員	...	最終的な構想に反映されるということでしょうか。
事務局 1	...	そういった意見をきちんと拾っていく必要があると考えておりま す。
議長 (A 会長)	...	課題解決というのではなくてね。 こんな問題があるよっていうのをを出していただくということで、 基本構想を考えていく上で、ご意見もそこにどんどん入れ込みなが ら、ただそれまでは、市役所の方で原案を考えていただくんですけ ども、それをベースにして市民の方からもその場で色々な意見を いただいて、更に新しい基準とか見落とされている意見とかいただ いて、両方足し合わせて作ると。 そういうやり方ですね。
事務局 1	...	原案は、こちらで作成することにはなるとは思いますけども。 その原案の項目について、市民の方々の目線として、どういう風 に思っているのか、どういったお考えをお持ちなのかという ご指摘を受けながら、原案の作成に取り組むことになるのかなとい うふうに思います。
C 委員	...	最初のワークショップの取組に意見を出してもらって、課題とか、 その解決策っていうのを出したものを参考にして、取り入れるって いうことは、前回の公開講座で言われていたと記憶しています。
議長 (A 会長)	...	市民参加型のプロセスもしっかり組み込みながら、その後、総合 計画、戦略を考えていくということですね。 結構、参加されておられる市民の方にとってみると、面白いんじ ゃないのかなと。 参加しているって実感がありますしね。 自由に意見を言えるので。
B 委員	...	6 月から 9 月になっていますけど、もうちょっと早いほうがいい んじゃないのかなと、思いました。
C 委員	...	国の総合戦略を勘案して策定するっていう風になっているんです けど。 これとの関連で何か変化してくるようなことっていうのはあるん でしょうか。

		それとも、これができた時点で、もうこれ、勘案しながら作っていくので、このスケジュールには変更ないよっていう考え方でいいでしょうか。
事務局 1	…	今の総合計画、総合戦略っていう部分においては、国が今回示しましたデジタルっていう部分での視点が全然入っておりませんので。 そういったところを盛り込んでいきたいと。 スケジュールは、概ね変更はないと考えています。 そのつもりで、令和 5 年、令和 6 年という準備期間を経て、令和 7 年度を始期とする形で策定したいと考えております。 委員からございますデジタル田園都市国家構想ですね。 1 番基礎となる部分においては、やはり、令和 2 年に国勢調査が実施されました。 それに基づきまして国の方から、推計人口が今後、示されます。 この推計人口というのは今後、日本全国においても人口減少が加速的に進むという風に示されている中で、実態として自治体において、どれくらいの人口減が進行するのか。 やっぱり基礎的資料として、様々な施策に取り組まなければならないというところでございますので、今回、このような形でスケジュールを報告させていただいたところでございます。
議長 (A 会長)	…	今回はやっぱりデジタル化っていうこともあって、様々なところで新しいものになっていくんじゃないかなと思うんですよね。 それじゃ、スケジュールについてはよろしいでしょうか。 事務局の方からもその他何かございますでしょうか。
C 委員	…	デジタル化を進めるに当たって、取り残される人のセーフティネットをどうするかっていうところを。 ここで、上手くいったら、垂水市の良いところっていうのが出るんじゃないですかね。
議長 (A 会長)	…	あとバランスよくですね、そこに知恵を働かさないといけないと思いますね。 それでは議事のその他でございますけども、何か皆様方から、その他でございますでしょうか。
C 委員	…	今回この資料を直前でいただいたんですけれども、事前にいただけると、また読み込んできて、もっと意見言えるのかなと思いましたので。 事務局は大変かもしれない。
議長 (A 会長)	…	それでは、審議事項は、全て終了しましたので、議長の任を解かせていただき、事務局にお返しします。

… ありがとうございます。

以上で、第2回垂水市総合開発審議会を閉会いたします。

最後に、本日出席いただきました片野田委員、本日は所用により欠席となりました杉元委員が人事異動により、3月末を以って、委員を退任することとなりました。

片野田委員、杉元委員におかれましては、本市の行政運営に御協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

異動先での益々のご活躍をお祈り申し上げます。

本日は、年度末のお忙しい時期にも関わらずご出席いただきありがとうございました。
